

KYOSHINKAI INNOSHIMA 2025.11 No.289

8/21 (木) 夏休み マツダミュージアム・ZOOM-ZOOM スタジアム見学会開催

因島郷心会では、8月21日(木)に尾道・三原郷心会と合同で「マツダミュージアム・ZOOM-ZOOM スタジアム見学会」を6会員15名様(全体13会員32名様)で開催いたしました。

夏休みということで、子供さんを含む家族でマツダミュージアムとカーブの球場施設を見てもらいたい、という企画でした。マツダミュージアム見学では、最初にマツダの歴史説明があり、その後历代マツダ車や工場の現場をガイドさん付きで見学する行程となっており、参加者の皆さんもガイドさんの詳しい話に心酔をもっておられました。

広島市文化交流会館で昼食後は、皆さんお待ちかねのマツダ ZOOM-ZOOM スタジアム見学でした。このカーブ球場見学では、普段球場に来ても見ることのできないパックヤードを見学しました。カーブベンチ、ウォームアップ室、ブルペン、バックスクリーン下等をツアーガイドさんに案内いただき、最後の記者会見室ではほとんどの方がカーブユニフォームを着て記念撮影をされていました。

皆さんには思い出に残る見学会になったのではないかと思います。



開催場所：マツダミュージアム・ZOOM-ZOOM スタジアム

9/15 (祝・月) 劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」観劇鑑賞会開催

因島郷心会では尾道郷心会と合同で、9月15日(祝・月)に劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」観劇鑑賞を11会員22名様(全体92名)で開催いたしました。

「赤毛のアン」は孤児院で育ったアンが、村に住む老いた兄妹にめらわれ、成長していく物語です。当初兄妹は、孤児院で男の子を希望したが、手違いで女の子のアンがやって来たため、孤児院に帰そうとします。しかし、徐々にアンの人柄に魅了されていき迎え入れることとなります。また村人からもアンの個性的な性格が騒動となり、最初は受け入れられませんでしたが、少しずつ慕われて行きます。その様子がミュージカルで表現され、音楽に合わせた踊りもきれいにまとまっています。

途中、休息を入れての約3時間でしたが、あっという間でした。劇団四季のミュージカルを初めて見た会員様も「最初の音響・踊りから感動した」「また違うミュージカルにも行きたい」という声がありました。



開催場所：ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ

10/13 (祝・月) 大阪交響楽団プラス・アンサンブル・コンサート鑑賞会開催

因島郷心会では、10月13日(祝・月)に三原・尾道郷心会と合同で「大阪交響楽団 プラス・アンサンブル・コンサート」ボボロ主催公演鑑賞会を、9会員18名様(全体23会員45名様)で開催いたしました。

メンデルスゾーンの「結婚進行曲」、ヘンデルの「ハレルヤ」やシューベルトの「アヴェ・マリア」などの名曲を、煌びやかと深みをあわせ持つ金管五重奏で、皆さんにもなじみのある「となりのトトロ」メドレーでは多くの方々が音頭をとて聞かれたようでした。

大阪交響楽団の名手たちによる緻密なアンサンブルと豊かな表現力に鑑賞者皆、拍手を送られたようでした。

また、アンコールは無しという話でしたが実際にはアンコールに応えて頂き、参加された方は今回のコンサートに満足されていました。



開催場所：三原市芸術文化センターボボロ

10/26 (日) パンづくり教室開催

因島郷心会では、10月26日(日)に「パンづくり教室」を、5会員15名様で開催いたしました。この度は、土生で飲食関係のお店「Cafe&Bar in the SUN」を経営しておられます寺本様に講師を依頼し、「フォカッチャ」のパンをつくりました。

今回は、「皆さんでアレンジしてつくってみましょう」という趣旨のため、こねる・焼くの指導以外は、参加者も独自にパンにのせる材料や付ける材料を選びました。

最初のパンをこねる工程が力がいり、時間もかかるため、皆さん苦労しておられました。子供さんが悪戦苦闘してパンをこねている中、早くこねあがった他の会員さんがお手伝いしている場面も見かけられました。

焼き上がりには時間がかかり待つ間がありましたが、出来上がった自家製パンは、皆さん美味しく召し上がることができたのではないかでしょうか。

会員さんアンケートでは、お菓子づくり・季節の料理づくり他食べ物づくりの要望や「親子で参加できよかったです」との意見もありました。



開催場所：田熊公民館

11/8・9 (土・日) 広島サンダーズバレーボール観戦会(ジェイテクト STINGS 愛知戦)開催

11月8・9日(土・日)に因島郷心会では、「広島サンダーズ観戦会(ジェイテクト STINGS 愛知戦)」を2日間、参加18会員51名様で開催いたしました。

今年度は、申込の段階で昨年度の同時期に比べ20会員様も申込が多く、抽選により参加できない会員様も多くありました。

事務局としては8日(土)の1試合だけ観戦に行きましたが、地元開幕戦ということで応援のチアリーダーも含め、盛り上がっていました。

試合は広島サンダーズが1セット目は競り勝ち、逆に2セット目はラリーの応酬の上競り負けました。しかし、3セット目に先にマッチポイントを相手に迎えられてからの逆転勝ちで一気にテンションが上がりました。勢いに乗る4セット目の最後は広島サンダーズのブロックが完璧に決まり、セットカウント3対1で広島サンダーズの勝利が決定しました。

この日に見に行かれた会員様には満足な結果となりました。(次日は広島サンダーズが敗れました)



開催場所：エフピコアリーナふくやま

CONTENTS

- ◆開催イベント
- ・夏休み マツダミュージアム・ZOOM-ZOOM スタジアム見学会開催
- ・劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」観劇鑑賞会開催
- ・大阪交響楽団プラス・アンサンブル・コンサート鑑賞会開催
- ・パンづくり教室開催
- ・広島サンダーズバレーボール観戦会(ジェイテクト STINGS 愛知戦)開催
- ・汐待亭様出店イベント
- ・マツダ車展示(2025 因島水軍まつり・第6回造船鉄工祭)

◆会員様紹介

- ・内海エンジニアリング株式会社

◆因島の職人

- ・有限会社芸熔設備(GOLF LOAD)

◆因島のお店紹介

- ・有限会社岡野美容室

- ・Mr.Vanilla

本日は、造船業で活躍しておられます有限会社芸熔設備社長の箱崎総志様が経営の上一番大切なことだそう堂される、尾道市高須のゴルフシミュレーションルーム「GOLF LOAD」にてお話しをお伺いいたしました。箱崎様は、「今は造船業で工場で工場の現場をガイドさん付きで見学する行程となっており、参加者の皆さんもガイドさん詳しい話に心酔をもっておられました。広島市文化交流会館で昼食後は、皆さんお待ちかねのマツダ ZOOM-ZOOM スタジアム見学でした。このカーブ球場見学では、普段球場に来ても見ることのできないパックヤードを見学しました。カーブベンチ、ウォームアップ室、ブルペン、バックスクリーン下等をツアーガイドさんに案内いただき、最後の記者会見室ではほとんどの方がカーブユニフォームを着て記念撮影をされていました。皆さんには思い出に残る見学会になったのではないかと思います。

箱崎様は、18歳からの4年間を大阪で過ごされ、22歳で因島に戻り、内海造船株式会社旧田熊工場・因島工場で船体ブロ

ックの製造に携わられました。今までで大変だったことを聞かせて頂きましたと「補償工事で仕事が大量に入り、作業人員が不足した時、四国他

から伝手をたどって人員を集めた、これは辛かつたが楽しかった」と言わされました。様々な経験を積まれ、現在、お父様の後を継がれ2代目の社長を務めています。有限会社芸熔設備で

はインドネシアを主体とした3年間の技能実習制度を早くから活用され、優秀な人材を特定技能1号として更に5年、その後技能2号として長く働ける、

といふ人材育成の流れをつくりられています。しかし、「技術の安定的な継承」とのつながりが強く、船体ブロックを

場内協力会社として、本社瀬戸田工場と因島工場でそれぞれ1ラインを任せられ製造されています。ブロックの単位は15m角で約60トン程ということです。これらは1週間から10日程度で鋼板からブロックに姿を変え次々と船台に送り出されます。

箱崎様は、18歳からの4年間を大阪で過ごされ、22歳で因島に戻り、内海造船株式会社旧田熊工場・因島工場で船体ブロ

ックの製造に携わられました。今までで大変だったことを聞かせて頂きましたと「補償工事で仕事が大量に入り、作業人員が不足した時、四国他

から伝手をたどって人員を集めた、これは辛かつたが楽しかった」と言わされました。様々な経験を積まれ、現在、お父様の後を継がれ2代目の社長を務めています。有限会社芸熔設備で

はインドネシアを主体とした3年間の技能実習制度を早くから活用され、優秀な人材を特定技能1号として更に5年、その後技能2号として長く働ける、

といふ人材育成の流れをつくりられています。しかし、「技術の安定的な継承」とのつながりが強く、船体ブロックを

場内協力会社として、本社瀬戸田工場と因島工場で船体ブロ

ックの製造に携わられました。今までで大変だったことを聞かせて頂きましたと「補償工事で仕事が大量に入り、作業人員が不足した時、四国他

から伝手をたどって人員を集めた、これは辛かつたが楽しかった」と言わされました。様々な経験を積まれ、現在、お父様の後を継がれ2代目の社長を務めています。有限会社芸



内海エンジニアリング 株式会社

会員様紹介



有限会社岡野美容室

〒722-2324 尾道市因島田熊町1086
営業時間 9:00~19:00
定休日 月曜日、第1・第3日曜日
TEL:0845-22-0698

◆◆有限公司岡野美容室◆◆

四庫全書

の岡野章馬様をお詫ねし昔から今は至る話しをお伺いさせて頂きました。
お店の併まいは「ザ 昭和」の雰囲気を醸し出し、地元の常連様には我が家のように落ち着く場になつてゐるようですが。
また、「岡野」ということで、最近ではボルノグラフティファンつながりで、都会から因島に来られ、岡野美容室で美容をされるお客様もいらっしゃるそうです。
「お客様の髪の質に合つた髪の毛にやさしいヘアースタイルの提案」を一番に考えておられます岡野様は、M3Dシステムというピコサイズの完熟ミネラル成分を髪の中に浸透させ、艶々でさらさらの取り扱い易い髪質にすることをお店の売りにされています。高校生の頃から長年通われてお客様もいらっしゃるのですが、広島県東部では、この技術を取り入れられている店も少ないそうです。



因島のお店紹介

团體の政治

美味しさ。店名の「ミスター・ウーナー」は、美しいカスタードクリームをつくる友人の愛称からいたいだいたいそうです。羽田様はフルーツをのせたり、クリームの飾り付けを変えたりと様々な品をつくれますが、人気のお菓子はケーキのようを見た目も華やかなデコレーションショーケースだそうです。バターや他の材料の高騰で洋菓子にも厳しい時代ですが、「気軽に買って、しっかり美味しい」をお店の基本と羽田様



Mr.Vanilla

〒722-2102 尾道市因島重井町1086
営業時間 11:00~17:30
不定休
インスタグラム:@MR VANILLA JP

・有限公司社圖

因體の研究

の岡野章馬様をお詫ねし昔から今は至る話しをお伺いさせて頂きました。
お店の併まいは「ザ 昭和」の雰囲気を醸し出し、地元の常連様には我が家のように落ち着く場になつてゐるようですが。
また、「岡野」ということで、最近ではボルノグラフティファンつながりで、都会から因島に来られ、岡野美容室で美容をされるお客様もいらっしゃるそうです。
「お客様の髪の質に合つた髪の毛にやさしいヘアースタイルの提案」を一番に考えておられます岡野様は、M3Dシステムというピコサイズの完熟ミネラル成分を髪の中に浸透させ、艶々でさらさらの取り扱い易い髪質にすることをお店の売りにされています。高校生の頃から長年通われてお客様もいらっしゃるのですが、広島県東部では、この技術を取り入れられている店も少ないそうです。



- ホテル経営（ナティーワ城山）
- 以上の4本柱に
- 内海造船株式会社のサービス部門
- 箕の整備やサンドブラストプラント運営
- など、多岐にわたる事業分野を構成されておられます。本日は建設事業のお話を中心にお伺いいたしました。
- 建設業の許認可はほぼ全て揃われているので、地元密着で迅速に対応すること



そのグループ会社である私たちも、当時の島の人たちの活気は、心に深く刻まれています。島が元気になるために、企業ができること。エンジニアリングという枠を超えて、私たちにできること。島の暮らしがもっと便利に、もっと豊かになるために。私たちは、この島々の未来を守り続けます。

A white and blue motorhome is parked on a grassy hillside. The motorhome has a large window and a slide-out section. The background shows a scenic view of mountains under a clear blue sky.



新唐山ジニアコング株式会社

〒722-2494
尾道市瀬戸田町沢226-6
TEL..0845-27-3390
FAX..0845-27-4041



本日は、「ミスター・ヴァニラ」をお訪ねし、代表の羽田雅幸様に話しを伺わせていただきました。

羽田様は大阪のご出身ですが、お母様のご縁で高校生の頃から福山で過ごされ18年前に松永で「le-b're」を開業され、現在も當んでおられます。

本業が美容院の羽田様が因島でスイーツを始められた思いを今回聞かせていただきました。

羽田様のお菓子づくりのきっかけは、初めて自分でシュークリームを作られた時に喜びを感じ、「お菓子づくりってこんなに楽しいんだ!」と感動され、たびたびケーキをつくられていたそうです。

そのことを知つておられた因島の知人から「因島で空き店舗があるのでそこでケーキ屋さんをされたら」との誘いがあつたそうです。羽田様は普段から「チャンスがあればすぐ動けるように」と考えておられ、その方を含めた島の人の人柄の良さやあたたかい空気も感じられていたため「ここで店を出したい」と即決さ



は考えられている
ため、地元の方か
ら手土産と言えば
すぐに思い浮かぶ
店であることを大
事にしておられま
す。今は生菓子のみですが、焼菓子もつ
くり、インターネット通販にも挑戦して
いきたい、と話しておられました。

また、羽田様は因島郷心会の会員様で
もある「お食事処あじさい」さんと、シ
ュークリーム・ロールケーキを作られて
コラボされているそうです。これからも
島の活性化や地域の盛り上げにも貢献し
ていきたい、とも話されました。

朝早くから夜遅くまで忙しい羽田様の
楽しみは、1歳のゴールデンレトリバー
と一緒にお店に通うことだそうです。お
客様にも可愛がられ、毎週のドックトレ
ーナー通りも楽しみのようでした。

皆様もシュークリーム・ロールケーキ
を食べにミスター・ヴァニラに行かれてみ
てはどうでしょうか。

業界もあたる難しい課題となつてゐるところが、ここでも分かります。